

序論・基本構想 新旧対照表（ページは新ページ）

項目	旧（市民意見募集時）	新（第4回審議会 変更案）※誤字等の軽微な変更を除く
p 4 基本計画 分野別計画	表の項目 政策分野（8） 施策（39） 基本事業（<u>140</u>） 第1章 人権・市民参画 施策 <u>2. 男女共同参画の推進</u> 基本事業 <u>あらゆる年代における男女共同参画への意識づくりほか</u> 第4章 こども・子育て <u>2. 安心して産み育てやすい環境づくり</u>	政策分野（8） 施策（39） 基本事業（<u>141</u>） 第1章 人権・市民参画 施策 <u>2. ジェンダー平等・男女共同参画の推進</u> 基本事業 <u>ジェンダー平等・男女共同参画への意識づくりほか</u> <u>2. 就学前の教育・保育の充実</u>
p 7 自然的特性	（2）自然的特性 本市は、南北に流れる遠賀川に沿って平野が広がり、東は関の山、西は三郡山地等に挟まれ、良好な自然が残されています。周囲の山々に源を発する河川は、本市の北部に多くの支流を集めて遠賀川となり、北流しています。気候は、盆地を形成しているため、夏冬、昼夜の気温差が大きく、内陸性気候の特徴を示しています。	本市は、南北に流れる遠賀川に沿って平野が広がり、東は関の山、西は三郡山地等に挟まれ、良好な自然が残されています。周囲の山々に源を発する河川は、本市の北部に多くの支流を集めて遠賀川となり、北流しています。気候は、盆地を形成しているため、夏冬、昼夜の気温差が大きく、内陸性気候の特徴を示しています。 <u>なお、特に近年、気候変動の影響により全国的に風水害の頻発化や激甚化が進んでおり、山間部と市街地が混在する地形特性をもつ本市は浸水害や土砂災害のリスクを抱えています。また、市西部を縦断する西山断層帯による震災についてもリスクがあります。</u>
p 8 社会的特性	（4）社会的特性 ②充実した医療施設 その中には、<u>第三次救急医療施設</u>（重篤な救急患者に対し高度な救急医療を総合的に提供する医療施設）として飯塚病院、それを補完する高度医療を提供する<u>第二次救急医療施設</u>として飯塚市立病院、済生会飯塚嘉穂病院など4施設、さらに、全国的にも高度な専門病院である総合せき損センターやリスクの高い妊産婦や新生児などに高度な医療を提供する飯塚病院総合周産期母子医療センターがあります。	その中には、<u>三次救急医療施設</u>（重篤な救急患者に対し高度な救急医療を総合的に提供する医療施設）として飯塚病院、それを補完する高度医療を提供する<u>二次救急医療施設</u>として飯塚市立病院、済生会飯塚嘉穂病院など4施設、さらに、全国的にも高度な専門病院である総合せき損センターやリスクの高い妊産婦や新生児などに高度な医療を提供する飯塚病院総合周産期母子医療センターがあります。

コメントの追加 [A1]:

基本事業追加に伴う修正

コメントの追加 [A2]:

基本事業名見直しに伴う変更

コメントの追加 [A3]:

第3回審議会 資料1 No.23 により変更

コメントの追加 [A4]:

第3回審議会 資料2 No.28 により変更

コメントの追加 [A5]:

第3回審議会 資料2 No.7 により変更

コメントの追加 [A6]:

第2回審議会 資料1 No.11 及びNo.12 により変更

序論・基本構想 新旧対照表（ページは新ページ）

項目	旧（市民意見募集時）	新（第4回審議会 変更案）※誤字等の軽微な変更を除く
p10 人口構造	（5）人口構造 年齢3区分別人口は、2020（令和2）年国勢調査時点で、0～14歳の年少人口は16,215人で全人口に占める割合は13.0%、15～64歳の生産年齢人口は68,782人で55.1%、65歳以上の<u>老年人口</u>は39,727人で31.9%となっています。 1990（平成2）年からの推移をみると、出生率の低下や平均寿命の伸び等により年少人口の減少と<u>老年人口</u>の増加傾向が顕著にみられ、<u>老年人口</u>が年少人口を上回って推移しています。	年齢3区分別人口は、2020（令和2）年国勢調査時点で、0～14歳の年少人口は16,215人で全人口に占める割合は13.0%、15～64歳の生産年齢人口は68,782人で55.1%、65歳以上の<u>高齢者人口</u>は39,727人で31.9%となっています。 1990（平成2）年からの推移をみると、出生率の低下や平均寿命の伸び等により年少人口の減少と<u>高齢者人口</u>の増加傾向が顕著にみられ、<u>高齢者人口</u>が年少人口を上回って推移しています。
p13 財政の状況	（7）財政の状況と財政見通し ①財政の状況 財政状況の内訳を2015（平成27）年度と<u>2024（令和6）年度</u>と比較すると、歳入では、ふるさと納税による寄附金などの増加により自主財源の割合が上昇し、地方債の減少などで依存財源の割合が低下しています。 <グラフ> 2015年度と<u>2024年度</u>のデータを記載	財政状況の内訳を2015（平成27）年度と<u>2025（令和7）年度</u>と比較すると、歳入では、ふるさと納税による寄附金などの増加により自主財源の割合が上昇し、地方債の減少などで依存財源の割合が低下しています。 <グラフ> 2015年度と<u>2025年度</u>のデータを記載
p15 人口減少と 少子高齢化 の進展	（1）人口減少と少子高齢化の進展 また、2060（令和42）年には年少（0～14歳）人口が893万人（9.3%）、生産年齢（15～64歳）人口が5,078万人（52.8%）、<u>老年</u>（65歳以上）人口が3,644万人（37.9%）となり、ますます少子高齢化が進むものと予測されており、労働力人口の減少、社会保障費の増大や経済規模の縮小など、社会経済・雇用環境にも多大な影響を及ぼすことが懸念されています。	また、2060（令和42）年には年少（0～14歳）人口が893万人（9.3%）、生産年齢（15～64歳）人口が5,078万人（52.8%）、<u>高齢者</u>（65歳以上）人口が3,644万人（37.9%）となり、ますます少子高齢化が進むものと予測されており、労働力人口の減少、社会保障費の増大や経済規模の縮小など、社会経済・雇用環境にも多大な影響を及ぼすことが懸念されています。

コメントの追加 [A7]:

市民の方に分かりやすいよう変更

コメントの追加 [A8]:

最新のデータへ変更

コメントの追加 [A9]:

市民の方に分かりやすいよう変更

序論・基本構想 新旧対照表（ページは新ページ）

項目	旧（市民意見募集時）	新（第4回審議会 変更案）※誤字等の軽微な変更を除く
p 28 まちづくり の基本理念 と政策分野	（2）共に支えあい健やかに暮らせるまち ②こども・子育て 地域とのつながりの中で<u>男女が共に</u>こどもの成長や子育てに伴う喜びを実感できる環境を土台に、全てのこども・子育て家庭への支援を推進します。さらに、こども一人一人の発達段階に応じた教育・保育や子育てサービスの充実や質の向上を推進します。加えて、学校・家庭・地域が<u>連携した</u>こども・若者の健全育成を進め、健やかな成長と自立を実現するまちを目指します。	地域とのつながりの中で、<u>こどもを育む全ての人が</u>、こどもの成長や子育てに伴う喜びを実感できる環境を土台に、全てのこども・子育て家庭への支援を推進します。さらに、こども一人一人の発達段階に応じた教育・保育や子育てサービスの充実や質の向上を推進します。加えて、学校・家庭・地域が<u>連携し</u>、こども・若者の健全育成を進め、健やかな成長と自立を実現するまちを目指します。
p 30 将来フレイム 2. 年齢別人口	第2章 将来フレーム 2. 年齢別人口 そのような中、本市では、人口減少克服に向けた様々な施策を講じることにより、生産年齢人口の減少を鈍化させ、年少人口と<u>老年人口</u>は横ばいになることを見込みます。	そのような中、本市では、人口減少克服に向けた様々な施策を講じることにより、生産年齢人口の減少を鈍化させ、年少人口と<u>高齢者人口</u>は横ばいになることを見込みます。

コメントの追加 [A10]:

施策の見直しに伴い修正

コメントの追加 [A11]:

市民の方に分かりやすいよう変更